

館林市パブリックコメント募集結果報告書

募 集 案 件		館林市高齢者いきいきプラン(館林市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画)(案)
募 集 期 間		令和2年12月4日 ～ 令和3年1月4日
募 集 結 果	提 出 者 数	2 人
	意 見 数	7 件
	提出方法内訳	郵 送 2 件 ・ F A X 0 件 ・ メール 0 件 ・ 直 接 5 件
市の対応状況		<p>①反映させた意見数： 0 件</p> <p>②反映させられなかった意見数： 7 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整理番号1、5、7のご意見には、素案中にある記述を通して対応したいと考えます。 ・ 整理番号2、4、6のご意見は、今後の事業実施の参考とさせていただきます。 ・ 整理番号3のご意見については、現在取組中です。
意見等の概要と市の考え方		
整理番号	意見等の概要	市の考え方
1	老人が家に帰る暇なく交流できる環境づくりをしてほしい。老人ホームに畑を設けたり、地域との交流の場を設けたりしてほしい。	施策の展開「高齢者の社会参加と生きがいづくり」では、「地域活動や就労などの社会活動への参加を促進するため、寿連合会（高齢者クラブ）やふれあい・いきいきサロン、老人福祉センターなどにおける自主的な活動や、シルバー人材センターの運営を支援しています。」としており、これを通して対応したいと考えます。
2	健康貢献事業へのポイント付与を更に充実してほしい。	たてばやし健康づくりマイレージ事業では、健康に関する教室や相談、健康診査、介護予防に関する事業等に参加するとポ

		<p>イントが付与され、一定のポイントを貯めると協力店でサービスの提供を受けられます。ご意見は、今後の事業実施についての参考とさせていただきます。</p>
3	<p>認知症サポーター養成講座を様々な年齢層を対象に実施したり、職場等で開催したりして、認知症サポーターの数値目標に反映させてほしい。</p>	<p>認知症サポーター養成講座の受講に年齢制限はなく、どなたでも受講していただけます。また、職場での開催についてもご依頼に応じております。目標値については、年間300人、3年間で900人の受講（講座修了）として設定しました。</p>
4	<p>行方不明になった認知症の人の数を公表した上で、GPS購入費の一部だけでなく、購入費全額・利用料も市が補助してもらえると助かります。</p>	<p>「行方不明になった認知症の人の数」の正確な把握は困難と考えます。認知症高齢者探索システム利用費補助事業におけるGPS購入費等の補助範囲の拡大についてのご意見は、今後の事業実施についての参考とさせていただきます。</p>
5	<p>在宅介護実態調査結果をみると、「介護者が不安を感じている介護」で回答数が最も多いのが「認知症状の対応」となっている。悩みごと相談に認知症も加えてほしい。</p>	<p>施策の展開「地域包括支援センターの機能強化」では、「地域包括支援センターの相談件数は年々増加し（中略）相談内容は介護関係のみならず、認知症や医療、障がい、生活困窮など複合化かつ複雑化しており（後略）」という現状認識のもと、「地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、（中略）相談支援や介護に関する情報提供などを行っていきます。」としています。</p> <p>また、施策の展開「認知症の方や家族への支援」では、「認知症カフェや家族介護教室を開催し、（中略）専門職などと相互</p>

		に情報を共有し、お互いを理解し合える場として提供できるよう努めます。」としており、これらを通して対応したいと考えます。
6	在宅介護実態調査結果をみると外出同行・移動サービスの必要性が挙げられているが、被介護者が目的地に到着できれば事足りるのか、それとも介護者が自動車運転以外にも何らかの支援や見守りを行わなければならないのか、踏み込んで調査しないと有効な対策が取れない。市全体として交通政策と連動して取り組む必要があると思う。	<p>移動サービスと付添い・見守りサービスとの組合せニーズの把握についてのご意見は、今後の事業実施についての参考とさせていただきます。</p> <p>市全体の交通政策については、令和3年3月に策定が予定されている「館林都市圏地域公共交通計画」があります。公共交通だけでなく、福祉有償運送、スクールバスや企業送迎バス、地域の移動支援事業といった移動資源との協力体制の構築を通じ、利用者視点に立った生活交通ネットワークの形成を目指す内容となっています。市の関係部課が連携し、民間団体や企業とも連携しながら、高齢者や運転免許証非保持者といった交通弱者への移動手段の確保に取り組みたいと考えます。</p>
7	災害時の避難行動の支援者が決まっていない高齢者の割合が高い。防災放送の整備、介護施設やデイサービス等の利用者の避難場所の確保、近所の人による高齢者世帯の避難行動支援方法、介護サービス事業者による避難行動支援等が考えられないか。	<p>市では、現在防災スピーカー等の整備を進めているところです。</p> <p>避難行動に支援を要する高齢者について、施策の展開「防災体制・感染症対策の推進」では、「災害時には消防署や警察署、地域の自主防災組織などと連携し、協力を得ながら、支援を必要とする高齢者が迅速に避難できる体制の構築を図ります。介護事業所には、災害対策に係る計画等の策</p>

		<p>定、訓練等の実施を促し、関係機関と連携した取組を推進します。」としており、これらを通して対応したいと考えます。</p>
<p>素案修正概要</p>		
<p>変 更 前</p>	<p>変 更 後</p>	<p>変 更 理 由</p>
<p>なし</p>		
<p>問い合わせ： 実施担当課名 高齢者支援課 電話番号 0276-47-5130 F A X 番号 0276-80-3115 E - m a i l koreisyashien@city.tatebayashi.gunma.jp</p>		